

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	コロナ禍の状況にあり、外出や面会の制限により家族や地域社会との交流の減少により、精神的ストレスをためやすい。 また、訪問マッサージの施術が受けられない事で、運動機能の低下の恐れがある。	季節を感じていただけるような環境作りや催しを行ったり、施設内での歩行の機会を増やしたり、散歩や本人にあった個別アクティビティを実施する。	コロナウイルスの感染に気をつけ、散歩に出掛け、気分転換を図ったり、季節に合った行事に取り組んでいく。 また、個別アクティビティの充実を図っていく。	12ヶ月
2	33	重度化や終末期に向けた方針について、入居期間が長くなると、利用者の重度化が進み、終末期(看取り)支援を行う機会が増えている。早い時期から主治医を含め、ご本人やご家族と話し合いを行い、ご本人、ご家族の意向に沿って、最善の方法を話し合っているが、職員も慣れておらず不安がある。	ご本人にとって、最期までその人らしく、より豊かに過ごせる環境を整える。	チームケアの実践、各職種で、出来る事、すべき事など話し合いの場を設けたり、研修を行っていき、職員の知識や経験などスキルアップに努めていく。 ご本人やご家族の不安に寄り添えるように援助していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。